

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	電子計算処理運営事業			
予算科目	2 款 1 項 11 目			
総合計画での位置付け	行財政改革 行財政改革の推進			
所管課情報	担当課:	総務企画課	電話番号(内線):	508
記入者情報	所属長:	海田 秀司	担当責任者:	高橋 洋司
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	行政組織内部事務のうちコンピュータ処理が可能な事務			
根拠法令等	伊予市電子計算組織の管理運営に関する規則			
事業の目的	情報の保護行政の近代化コンピュータシステムの管理運営			
事業の内容	総務部総務企画課に設置したサーバコンピュータを中核にしたシステムの管理運営について、適正かつ効率的な運営を行う。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	住民情報システムの更新を検討実施する。			
改善策の 具体的 取り組み	新庁舎建設にあわせて、窓口事務の効率化を検討する。			

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	49,986	50,483	23,365	79,419
	人件費	8,135	8,135	4,067	7,954
	合計	0	58,618	27,432	87,373
人件費 内訳	人工数	1.00	1.00	0.50	1.00
	人件費単価	8,135	8,135	8,135	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	8,135	8,135	4,067	7,954
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	17,694
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	1,000	0	1,000
	一般財源	58,121	57,618	27,432	68,679

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
管理運営費(総事業費)	千円	58121	60000	27500	87373

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	170,000	170,000	70,000	70,000	7,000	487,000

成果指標				
成果指標	管理運営費(総事業費)			
指標設定の考え方	人件費を含めた総費用但し、システム更新の実施などにより、急激な増加が見込まれる。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標28年度
目標	65460	52500	170000	65000
実績	58121	87373	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	住基・税等の基幹系システムの更新に着手した。新たな業者を選定を終えるとともに、新庁舎やマイナンバーを見据えた住民窓口の総合化については、有志職員によるプロジェクトチームを立ち上げ検討を開始した。システム更新やマイナンバー対応などにより、一時的な経費の増大が見込まれるが、事務担当課と連携を取りながら効率的効果的な作業実施を図りたい。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	基幹系システムの更新と庁舎改築に伴う新庁舎に対応した総合窓口システムの導入のために、今後事業費の増大が見込まれるとともに、マイナンバー導入も控えており、プロジェクトチームとともに庁内関係課が連携し、住民ニーズに応える、より効果的・効率的なシステムが導入できるよう事業推進を図る必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	行政評価委員会抽出事業

行政評価委員会の答申

<p>外部評価 (行政評価委員会)</p>	<p>・事業評価の目的が、成果の目標として実績をどうするのかというのであれば、目標自体も現実に即すべきである。成果としてどう判断すべきか、もう少し目標と実績の差異がこういうことで起きていると分かるようにしていただきたい。・コンピューターシステムは質が重要である。安心安全のためにかかるお金に関して、やむを得ない評価になると思う。・そもそも管理運営費を圧縮する余地はないのではないか。</p>
---------------------------	---

経営者会議の最終判断

<p>事業の方向性</p>	<p>現状のまま継続する。</p>
<p>意見、課題</p>	